

はばたき

橋北小学校
学校だより

No.18

令和元年 11月 19日

13日(水)は、音楽集会をご参観いただき、誠にありがとうございました。また、16日(土)は、地域および保護者の皆様にお世話になって、地域と学校の合同防災・減災フェスタを実施することができました。ご協力ありがとうございました。合同防災・減災学習につきましては、後日、子どもたちの感想とともに伝えさせていただきます。

◆すばらしかった音楽集会 ～11月13日(水)～

全校児童、教職員、たくさんの保護者の皆様の見守る中、音楽集会が始まりました。最初は緊張していたようですが、全員で校歌をうたったくらいから少しずつ緊張がほぐれて、全学年とも、今までの練習の成果を十分発揮できた演奏でした。

1年生は合唱「ともだちになるために」と「にんげんっていいな」を振りをつけて歌いました。1年生の声は、素直な澄んだ声でした。特に2曲目の「にんげんっていいな」は、担任の馬躰先生のギターも加わり、伸び伸びと歌い上げました。



2年生の合唱「ゆうき」は、合唱の中に数名で歌う部分もありました。緊張したと思いますが、堂々と歌い上げていました。合唱部分とのバランスもとれていて、練習の成果が十分に発揮できた演奏でした。合奏「とべうちゅうせん」は小太鼓、すず、鍵盤ハーモニカ、タンバリン、トライアングル等、たくさんの楽器がありました。それぞれの楽器がお互いに聞きあって、美しいハーモニーでした。

3年生は、「ゆかいな木きん」と「ドレミの歌」で合奏と合唱を発表しました。楽器を演奏しながら合唱する、ということは実際にやってみると難しいものです。でも、3年生のみなさんはとても楽しそうに演奏していました。特に、ドレミの歌は、ハンドベル、鍵盤ハーモニカ、澄んだ歌声がそれぞれ引き立てあって完成度の高い演奏でした。



4年生は、合唱「LET'S GO! いいことあるさーGO WESTー」でした。手話を使いながらの演奏で、“だれもが音楽を楽しめる演奏をしたい”ということを目指して練習に取り組んできたそうです。その演奏はとても感動的なものでした。手話だけではなく、ミュージカルのように踊ったり、手拍子があったりしました。聞いている私たちも自然に笑顔になり体が動きました。

5・6年生は、三泗音楽会で発表する合唱「あさがお」を披露しました。

「あさがお」の歌詞は、思春期の子どもたちの心に響くものがあり、多くの小学校や中学校でも歌われている曲です。～様々な苦難に出会い、つまづいても涙を拭いて目を開ければ道が広がっている。青い空高く伸びる「あさがお」は旅立っていくわたしたちを見守ってくれているから強い思いを胸に歩いていけばいい～と力強くエールを送っています。



4か月後に卒業を控えた6年生。6年生を送り出し、後を引き継ぐ5年生。それぞれの想いやメッセージを込めた歌声を聴かせてくれました。

子どもたちは、音楽集会を通し、力をあわせて一つのことに向かう姿勢をさらに学び、また一段と成長したと思います。

◆修学旅行の思い出 6年生の作文より (一部抜粋)

- ★一番心に残っているのは、銀閣寺の砂もりで、昔の人たちは電気がなくて、だから月光を利用していることがわかりました。
- ★1日目で学んだことは、京都の歴史的な文化です。銀閣や金閣は、もとは寺としては作られていなかったことを知った。二条城ではウグイス張りの床がキュッとなるのがすごかった。
- ★キッザニアでは、6つのお仕事をしました。一つ一つの仕事が私たちの将来にとっても大切なものだと思います。仕事では、すごく礼儀が大事で私たちも教えてもらったので生活の中でも使いたいと思います。
- ★キッザニアでは、先生にすすめられたモデルをやってみたら、とてもおしゃれな服に着替えてみんなの前に出るのは恥ずかしかったけど楽しかったです。テレビ局では、すごく緊張したけど周りの人のフォローにとっても助けられました。とても楽しい修学旅行になったので、またみんなで行けるといいです。
- ★立命館大学の平和ミュージアムでは、戦争で使われていた道具を持ったりして、実際の重さを知ることができました。これから戦争をしないように、できることを頑張っていきたいと思います。
- ★国際平和ミュージアムでは、戦争がおこっていた頃の食料や家、暮らし方などの資料を見ることができ、ガイドの方に話を聞かせてもらったりして、戦争のつらさと平和の大切さがよくわかった。

